

埼玉県脳卒中相談窓口会議「中間解析結果説明会」：2025.11.11.Tue.

両立支援調査2024の中間解析結果報告

－埼玉県の結果・動向を中心に－

京都大学医学部附属病院 脳卒中療養支援センター

榎戸 真弓



本演題の発表に際して開示すべきCOIはありません。

KU:P

Agenda

1. 本調査の位置づけ・参加状況
2. 第一回目報告結果より見えてきたもの
一埼玉県の報告結果を中心に一



1. 本調査の位置づけ・目的

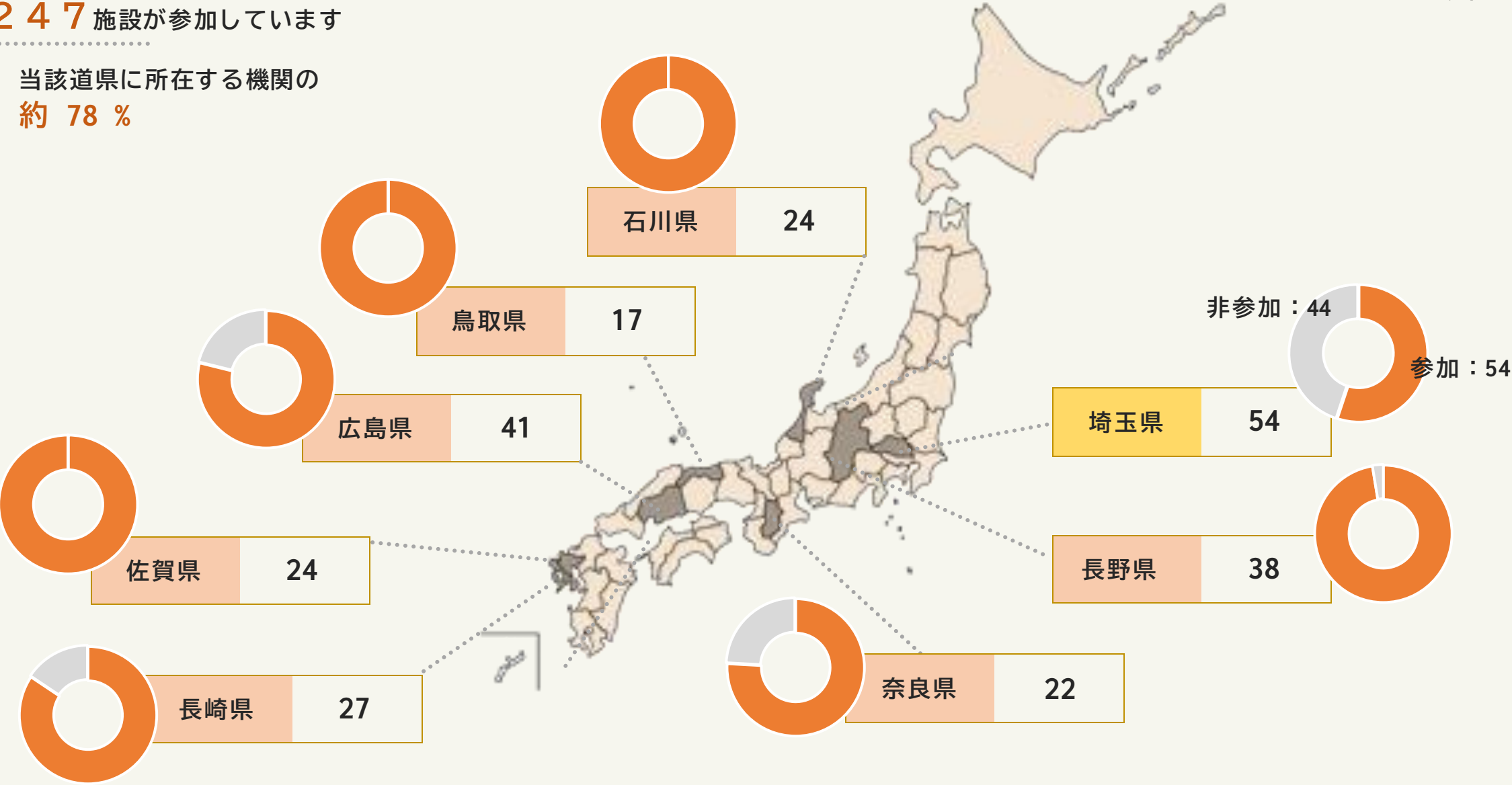
	① 両立支援調査 2023	② 両立支援調査 2024	③ 就労支援 リハ調査	④ 意思決定 支援調査	⑤ 両立支援調査 2025	⑥ 薬剤師退院時 指導調査
対象府県	7府県 岩手・宮城・栃木・富山・京都・福岡・熊本	8県 埼玉・長野・石川・奈良・鳥取・広島・佐賀・長崎	11府県 岩手・宮城・栃木・茨城・富山・三重・京都・香川・徳島・福岡・熊本	9県 岩手・宮城・栃木・富山・三重・京都・徳島・福岡・熊本	12道県 北海道・秋田・山形・群馬・山梨・岐阜・滋賀・和歌山・兵庫・山口・高知・宮崎	16府県 岩手・宮城・栃木・茨城・富山・石川・長野・三重・京都・香川・徳島・鳥取・福岡・長崎・佐賀・熊本
実施期間（症例エントリー）	2023.10～2024.3	2024.10～2025.3	2024.10～2025.3	2025.1～2025.3	2025.10～2026.3	2025.11
実施期間（フォローアップ）	2024.4～2025.9	2025.4～2026.9	2025.4～2026.3	—	2026.4～2027.9	—
調査実施主 担当職種	MSW	MSW	PT・OT・ST	看護師	MSW	薬剤師
主な 調査項目	復職状況	両立支援実施状況	復職支援リハ 実施状況	意思決定支援 実施状況	両立支援調査 実施状況	退院時薬剤指導 実施状況
利用システム	HELP-Stroke	HELP-StrokeⅡ	HELP-StrokeⅢ	HELP-StrokeⅣ	HELP-StrokeⅤ	HELP-StrokeⅥ

1. 本調査の参画状況 - 全国 -

2025/11/6現在

全国8県 **247** 施設が参加しています

当該道県に所在する機関の
約 **78 %**



1. 本調査の参画状況 - 埼玉県 -

北部

- 社会医療法人 熊谷総合病院（熊谷市）
- 深谷赤十字病院（深谷市）
- 本庄脳神経外科・脊椎外科（本庄市）
- 埼玉よりい病院（寄居町）
- 社会福祉法人 埼玉医療福祉会 丸木記念福祉メディカルセンター（深谷市）

利根

- 社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会加須病院（加須市）
- 社会福祉法人埼玉慈恵会 埼玉慈恵病院（久喜市）

県央

- 上尾中央総合病院（上尾市）
- 桃泉園北本病院（北本市）
- 関東脳神経外科病院（上尾市）

川越比企

- 武蔵嵐山病院（嵐山町）
- 医療法人若葉会 若葉病院（坂戸市）
- 平成の森・川島病院（川島町）
- 埼玉医科大学病院（毛呂山町）
- 埼玉県立循環器・呼吸器病センター（熊谷市）
- 埼玉医科大学総合医療センター（川越市）

西部

- 防衛医科大学校病院（所沢市）
- 社会医療法人 至仁会 圏央所沢病院（所沢市）
- 所沢ロイヤル病院（所沢市）
- 東所沢病院（所沢市）
- 所沢リハビリテーション病院（所沢市）
- 社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院（狭山市）
- 医療法人和会 武蔵台病院（狭山市）
- 医療法人積仁会 旭ヶ丘病院（日高市）
- 埼玉医科大学国際医療センター（日高市）

南西部

- 新座志木中央総合病院（新座市）
- 医療法人泰一会 和光リハビリテーション病院（和光市）
- イムス富士見総合病院（富士見町）
- TMGあさか医療センター（朝霞市）
- 医療法人山柳会 あさか相生病院（朝霞市）
- TMG宗岡中央病院（志木市）
- 独立行政法人国立病院機構 埼玉病院（和光市）

さいたま

- 自治医科大学附属さいたま医療センター（さいたま市大宮区）
- さいたま市立病院（さいたま市緑区）
- さいたま赤十字病院（さいたま市中央区）
- さいたま市民医療センター（さいたま市西区）
- 彩の国東大宮メディカルセンター（さいたま市北区）
- 医療法人明浩会 西大宮病院（さいたま市西区）
- 医療法人秋葉病院（さいたま市南区）
- 社会医療法人社団 埼玉巨樹の会 明生リハビリテーション病院（さいたま市北区）

東部

- 湖街ホスピタル（越谷市）
- 八潮中央総合病院（八潮市）
- 医療法人財団 明理会 春日部中央総合病院（春日部市）
- 原田病院（草加市）
- 丸山記念総合病院（吉川市）
- 獨協医科大学埼玉医療センター

南部

- 川口市立医療センター（川口市）
- 社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会川口総合病院（川口市）
- 医療法人久幸会 川口きゅうばりリハビリテーション病院（川口市）
- タムスさくら病院川口（川口市）
- 医療法人社団協友会 東川口病院（川口市）
- 医療法人霞ヶ関南病院（川口市）
- 戸田中央総合病院（戸田市）

参画施設数：54 機関

2. 第一回目報告から見えてきたもの - 報告状況 -

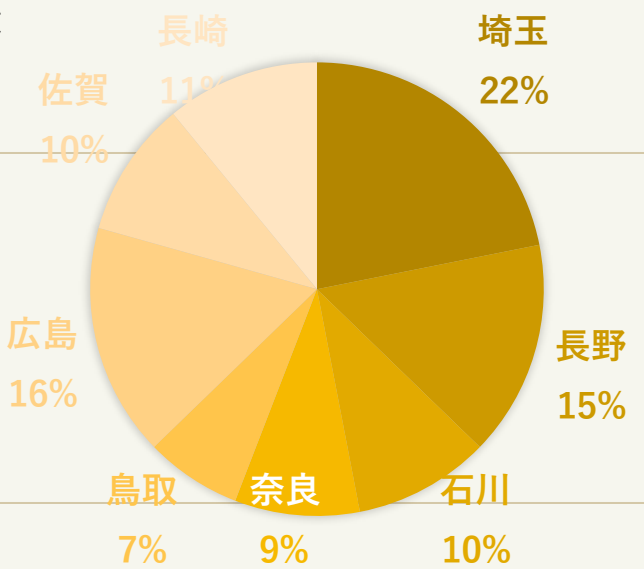
報告概要

	マイページ登録	第一回目報告
全国	247	231
完了率(%) *	-	93.5
埼玉県	54	48
完了率(%)	-	88.9

* 完了率：第一回目報告完了施設数 / マイページ登録施設数

Point

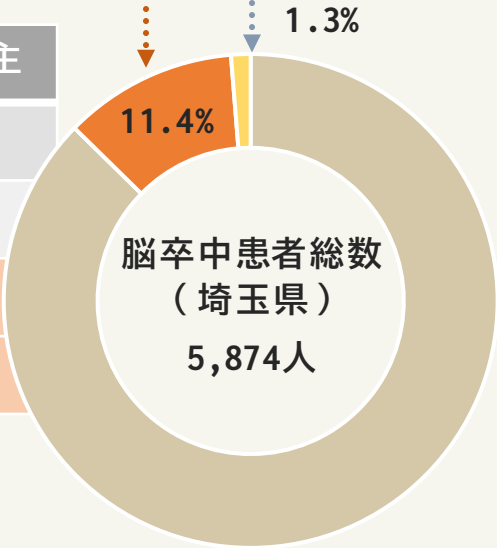
- 埼玉県においては、全国と同様に高い報告完了率を達成している
- 特に、回復期リハ機関の完了率はほぼ100%である
- 参画8県のうち、埼玉県の施設が約22%を占めており、高いインパクトを有する



2. 第一回目報告から見えてきたもの - 15-69歳における状況 -

自宅退院した15-69歳の脳卒中患者

	脳卒中患者総数	自宅退院数	自宅退院・就労者	自宅退院・事業主
全国	22,376	4,058	2,459	372
割合(%)	100	18.1	11.0	1.7
埼玉県	5,874	1,162	668	75
割合(%)	100	19.8	11.4	1.3



現役世代の就労率：57%（全国平均：61%）

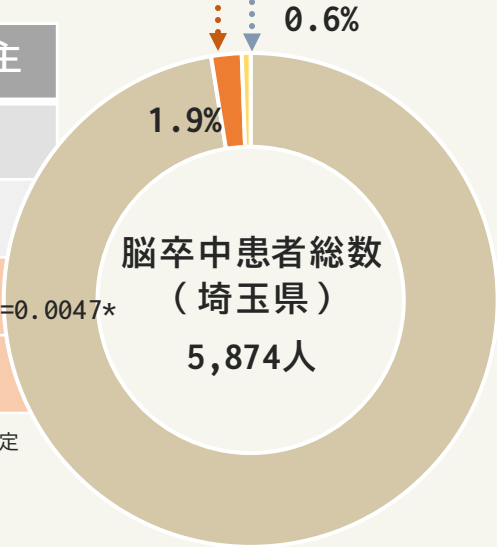
Point

- 埼玉県においては、5,874人の脳卒中症例が登録され、全体の26%を占めるなど、高い割合を示している。
- 全国同様に、自宅退院した現役世代の半数以上が就労しており、支援ニーズの高さがうかがえる。
- 脳卒中患者全体に占める就労者・事業主の割合は、それぞれ11.4%、1.3%であり、両立支援を必要とする層の規模が明らかになるとともに、その重要性が示された。

2. 第一回目報告から見えてきたもの - 70-79歳における状況 -

自宅退院した70-79歳の脳卒中患者

	脳卒中患者総数	自宅退院数	自宅退院・就労者	自宅退院・事業主
全国	22,376	4,253	605	255
割合(%)	100	19.0	2.7	1.1
埼玉県	5,874	975	117	34
割合(%)	100	16.6	1.9	0.6



* カイ二乗検定

自宅退院に占める就労率：12%（全国平均：14%）

Point

- 埼玉県では、自宅退院者の約1割以上が就労しており、脳卒中患者全体の約2%を占める。
- 全国と比べて事業主の割合は有意に低い傾向（ $p=0.0047$ ）にあり、さらなる検討が必要である。
- 就労者・事業主は全体の約2.5%を占め、生活と仕事の両立支援や、病状に応じた仕事内容の再構築が重要である。

2. 第一回目報告から見えてきたもの - 両立支援コーディネーター -

都道府県名	n	コーディネーター数	最大値	平均値	中央値	最小値
8県合計	231	344	10	1.5	1.0	0
埼玉県	48	63	8	1.3	1.0	0
長野県	35	44	5	1.3	1.0	0
石川県	24	27	5	1.1	0.0	0
奈良県	22	44	10	2.0	1.0	0
鳥取県	14	24	3	1.7	2.0	0
広島県	38	75	10	2.0	1.0	0
佐賀県	24	20	5	0.8	0.0	0
長崎県	26	47	8	1.8	1.0	0

Point

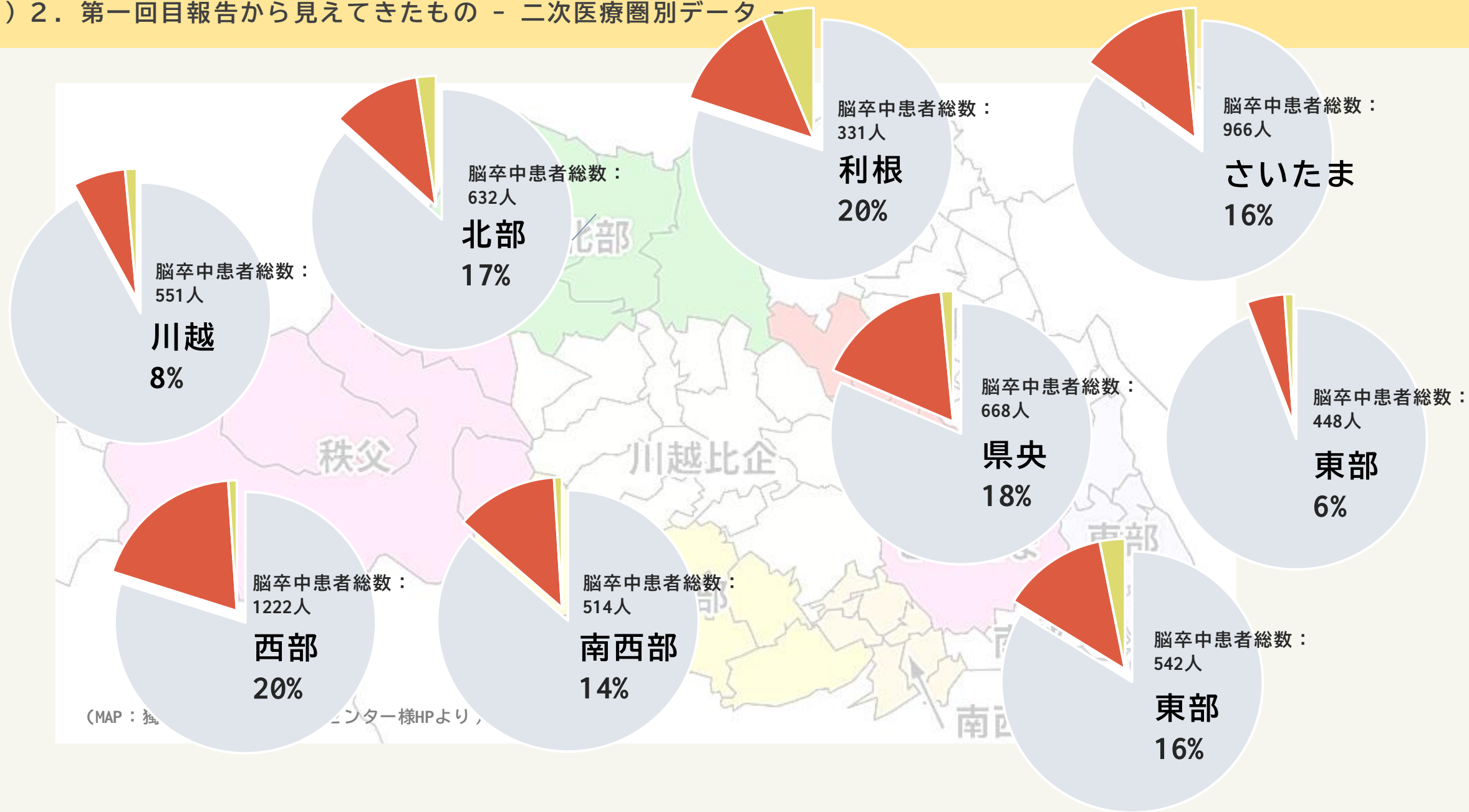
- 埼玉県の両立支援コーディネーターは63人と比較的多い。
- しかし、中央値は全国同様1.0であり、充足状況は限定的である。

項目	全国	埼玉県	埼玉県の割合（全国比）
コーディネーター数	344	63	18.30%
15-69歳就労者数	2,459	668	27.20%
脳卒中患者総数	22,376	5,874	26.20%

Point

- 患者総数・現役世代の就労者数を考慮すると、埼玉県ではコーディネーター一人あたりの負荷が大きい状況である
($p=0.0016$, カイ二乗検定)

参考) 2. 第一回目報告から見えてきたもの - 二次医療圏別データ -



最終報告に向けて

最終報告（両立支援実施状況等）は、**2026年10月**です
最終報告では、**両立支援の実施状況等**をご報告いただきます

FAQ：「両立支援を実施した」ことの定義

当調査では、実施職種や実施内容について、厳密な定義は設けておりません
目安としては、

「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」に基づいた

- ✓ 「勤務情報提供書」や「医療情報提供書」の作成
- ✓ 「休業中の職場との情報共有支援」等
- ✓ 「両立支援のための申出支援」
- ✓ 「医療連携支援や就労支援機関との連携」
- ✓ 「リハビリテーションによる職業訓練」などの具体的な両立支援

相談や傾聴のみではなく、
具体的な行動に伴ったものが主な対象です

などを想定

本調査へのご協力、誠にありがとうございました。

皆様のお力添えにより、悉皆性の高い有意義なデータが蓄積されております。
お忙しい中でのご対応に、心より感謝申し上げます。

ご意見やご要望などございましたら、ぜひお聞かせください。
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

.....

最終報告（両立支援実施状況等）に向けて、
引き続きご準備などよろしくお願いいたします

